



2026年3月27日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

**スパークス・グループ、国内初(*)の地域特化型官民連携 GX ファンド
「スパークス札幌・北海道 GX ファンド」の運用を開始**

スパークス・グループ株式会社（以下、当社）は、国内初(*)の地域特化型官民連携グリーントランスフォーメーションファンド「スパークス札幌・北海道 GX ファンド（以下、本ファンド）」を設立し、このたび札幌市を含む 14 機関出資のもと運用を開始いたしますので、お知らせいたします。

日本国内でも有数の再生可能エネルギーのポテンシャルを持つ北海道では、2023 年に GX 産業の集積と金融機能の強化集積を一体的に推進するため、産学官金 21 機関により「Team Sapporo-Hokkaido（以下、TSH）」が設立されました。また、2024 年には札幌市及び北海道が「GX 金融・資産運用特区」に決定されるなど、GX 産業の振興と投資環境整備に向けた取り組みが加速しています。

本ファンドは、TSH が掲げる 8 つの重点 GX 領域および再生可能エネルギーに関連する北海道内のプロジェクトを投資対象といたします。また、GX 金融・資産運用特区である札幌市及び北海道が定める補助金や税制優遇、規制緩和等の枠組みも活用しつつ良質な投資機会を創出することで、北海道の GX 産業に対し国内外からの資金流入を促す“呼び水”となることを目指します。

本ファンドは、TSH の構成員である金融機関や北海道で活躍する企業等、当社含む 14 機関より出資のコミットメントをいただいております。引き続き総額 100 億円規模のファンドを目指すとともに、地域との共生を図りながら、北海道への継続的な資金供給基盤の構築を進めてまいります。

(*)札幌市調べ

<https://www.city.sapporo.jp/somu/koho/hodo/202509/documents/20250910qxfund2.pdf>



1. スキーム図



2. ファンド概要

ファンド名	スパークス札幌・北海道 GX 投資事業有限責任組合 (通称：スパークス札幌・北海道 GX ファンド)		
投資対象	主に、下記に掲げる TSH の 8 つの重点領域および再生可能エネルギーに関する北海道内の GX プロジェクト (1) 洋上風力 (2) 次世代半導体 (3) データセンター (4) 水素 (5) SAF (6) 蓄電池 (7) 海底直流送電 (8) 電気及び水素運搬船		
出資者	無限責任組合員	スパークス・グループ株式会社	
	有限責任組合員	株式会社アインホールディングス 芦北町 (熊本県) 札幌市 株式会社脱炭素化支援機構 株式会社中山組 株式会社日本政策投資銀行 平和不動産株式会社 株式会社北洋銀行 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 株式会社北海道銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱 UFJ 銀行 (五十音順)	
運用代理人	スパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社		
運用期間	2036年2月1日迄		
ファンド規模	目標 100 億円	出資募集期限	2026年12月30日



3. 一部出資者からのコメント（五十音順）

・札幌市 札幌市長 秋元 克広

札幌市は、このたび「スパークス札幌・北海道 GX ファンド」に対し、Team Sapporo-Hokkaido の参画機関をはじめ、様々な機関の皆様とともに参画できますことを、大変うれしく思います。

本ファンドの設立を契機として、道内への良質な GX 投資がさらに活性化され、市内においても再生可能エネルギーの安定供給や関連産業の振興が図られることで、札幌市が目指す、GX 事業の集積・発展に資する金融機能の強化と金融都市としてのプレゼンスの向上につながるものと大きく期待しております。

・株式会社中山組

当社は、持続可能な地域社会の実現を重要な経営課題と位置付けています。本ファンドへの出資を通じて、札幌・北海道における GX 推進と産業創出に貢献するとともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを一層加速してまいります。

・平和不動産株式会社 代表執行役社長 土本清幸

当社は、東京日本橋兜町・茅場町エリアにおいて金融プレイヤーの集積拠点「FinGATE」を展開するとともに、札幌においても「FinGATE SAPPORO」の開設を計画し、札幌中心部の再開発事業「SAPPORO ONE（大通西4南地区第一種市街地再開発事業）」および「札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業」を推進しています。

本ファンドへの参画を通じて、札幌および北海道の多くのプレイヤーの皆さまとともに GX 分野の投資を広げ、北海道における新たな産業の創出と札幌の金融都市としての発展に貢献できることを大変嬉しく思います。

・株式会社北洋銀行

北海道は全国有数の豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを有しており、そのポテンシャルを生かすことで、日本の再生可能エネルギー導入促進を支えるとともに、カーボンニュートラル社会の実現による地域経済の成長発展が期待されています。

北洋銀行は、本ファンドへの出資を通じて、北海道における GX 推進と地域経済の持続的成長に貢献してまいります。

・公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（通称：ノーステック財団） 理事長 藤井 裕

ノーステック財団は、これまで産学官連携による研究開発支援や科学技術の事業化支援等を通じて、北海道における新産業の創出と地域経済の発展に取り組んでまいりました。本ファンドへの出資を通じて、北海道が有する再生可能エネルギーの強みがさらに活かされ、GX 分野における新事業の創出や関連技術の高度化が進み、北海道における新たな産業基盤の形成や地域経済の活性化につながることを期待しております。



・株式会社北海道銀行

北海道銀行は、この地域のGXファンドによる取組みをこれからの発展に向けた大切な第一歩と捉え、今後も様々な取組みを通じて地域経済および地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

・スパークス・グループ株式会社 代表取締役社長 阿部 修平

北海道は明治期に国主導で近代化が進められ、その後も公共投資の比重が高い経済構造のもとで発展してきました。また、豊かな風況や広大な土地に恵まれ、再生可能エネルギーのポテンシャルが非常に高い地域でもあり、近年はアジアや北米など世界中から投資関心が集まっています。本ファンドではこうした機会を捉え民間主導の投資を促進し、GXを起点に北海道の新たな成長の時代を切り拓いてまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室

TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101

pr_media@sparxgroup.com